

# 山行報告

## ■六甲分割縦走シリーズ④

## ＜ゆっくりズム山行＞

- 日 程：1月11日(土)
- 参加者：L 藤原(千) SL 澤田(律) 阿部 天野 小田(敏) 兼澤 河合 砂川(延) 田羅間 春本 福田(正) 古澤
- 行動記録：新神戸駅 10:45 発～市ヶ原(11:55 着) 12:05 発～掬星台(14:10 着) 14:45 発～三国池(16:00 着)～記念碑台(16:40 着) 16:55 発～天覧台(17:25 着)

### ◆ゆっくりズム山行 六甲分割縦走シリーズ感想文

福田(正)

このコースは六甲分割縦走シリーズ4区間目で、新神戸駅を出発し、市ヶ原、掬星台、杣谷峠、記念碑台、天覧台、六甲ケーブルで下山する13km 6時間の行程でした。この後予定されている高御位山縦走、そして六甲全山縦走トレーニング西コース、東コースと兼ねて参加でき、縦走初心者としての私としてはとてもありがたい企画です。

さて新神戸駅を出発し、柔軟体操もしっかり行い、市ヶ原まで布引の滝や貯水池を見ながらピクニック気分で登っていきました。しかしその後このコースでは一番の難所が待ちました。稲妻坂、天狗道、ゴロゴロ坂です。休みたいと思っていた丁度グットタイミングで、休めました。リーダー有難うございました。ようやく掬星台に到着。遠く生駒山、関西空港あたりまで見晴らすことができました。



この日は真冬というのに暖かく、風もなく、山行には最高の条件でした。10分の昼食タイム延長もあり、難所の疲れも取れました。

三国池散策、三国岩登頂でその日のメンバーの方との交流も進み、縦走中ホットするひとときでした。最後に天覧台で神戸の夜景を楽しむことができました。

六甲山には山行で幾度か来ていますが、観光客の方も多く、六甲の別の良さを発見した思いでした。

高御位山遊会に入会し、半年が経ちます。技術や心がけはまだ甘く、皆さんに迷惑掛けっぱなしですが、この半年の中、山行できるのは健康な身体でなければならず、また平和な日本だからこそと60歳後半で漸く思うようになりました。

リーダー サブリーダー 同行のメンバーの方々 楽しい時間を共有でき、有難うございました。

## ■六甲・地獄谷

## ＜アルプ&一般参加山行＞

- 日 程：1月18日(土)
- 参加者：L竹内 SL砂川(延) 尾内 乙坂 香川 兼澤 須増 谷口 土井 福田(あ) 福田(正) 古澤 森本
- 行動記録：芦屋川駅 9:00 発～高座の滝 9:45～地獄谷 10:30～A 懸垂直岩(クライミングトレーニング)～ピラーロック(12:25 着)13:00 発～風吹き岩(13:00 着)13:05 発～保久良神社(13:50 着)14:10 発～岡本駅(14:30 着)



### ◆岩稜帯歩行とロープワーク

古澤

好天に恵まれ心地良い山行になりそうな朝を迎えました。

芦屋川駅に8時20分頃到着し南のコンビニで昼食の買い出し、ついでに時間があったのでホットコーヒーで緊張感をほぐしてリラックス。

集合場所に到着して既に来られていた方々に挨拶、雑談。過去に友人とここから有馬。会から山歩き教室の終了山行で雨が峠、土樋割峠、東お多福山登山口と経験はあるものの地獄谷ルートは初めてでした。何せシュリングセットを実践で使用するのが初めてだったので、単に楽しみと言うだけでなく、未知との遭遇(笑)の少しの不安感と大きな期待感が有りました。

駅から少し歩いた公園でストレッチ後、高級住宅街の坂道を歩きます。玄関先には外車を止めてある住宅が並び、私達の列をポルシェが追越して行くのを無言で見送ります。僕はこの街並みを眺めながら歩くのが好きです。飽きない程度の時間で山道に入っていきます。この真逆の景観変化が神戸らしいな。

高座の滝をほんの少し登り、中央稜から分岐して地獄谷に下ると所々砂地の広いスペースになっていました。タープを張ってデイキャンプをしているグループがいます。が少し歩くとゴロゴロ石の沢筋で足の置き場に気を使いながら歩きます。

高低差のある滝?の手前で簡易チェストハーネスを上半身に付けカラビナをセットします。

事前に練習してきましたが、スムーズに付けられません。先輩方の指導を受けて何とか完了です。水量が少ないのが幸いし、いくつかの高い岩場も登れました。

そして、本日のメインイベント! 高さ15m以上はあろうかという岩場をロープクライミングです。竹内Lが上からロープを投げ垂らしてくれ、安全確保の為にシュリングをクレムハイストでロープに結び順々に上昇して行きます。

先輩方の登って行かれるのを参考に僕も挑戦しました。

中程で足の置き場が爪先部分しか掛からず不安定な所もありましたが、初めてにしてはスムーズに登り切れました。先輩方の指導のお陰で登れましたが、様々な状況の急斜面や岩場を安全に上昇、下降する技術を身に付けたいと思っています。

貴重な体験が出来た山行になりました。リーダー、会長はじめご一緒いただいた先輩方、ありがとうございました。

## ■二上山

## ＜女性委員会山行＞

- 日 程：1月18日(土)
- 参加者：L澤田(律) SL瀧原 小田(敏) 河合 田羅間 平石 廣岡 藤原(千) 安田
- 行動記録：JR 姫路駅 6:38 発ー近鉄二上山駅(8:58 着)9:20 発ー二上山登山口(9:30 着)9:40 発ー二上山雄岳(11:05 着)11:10 発ー二上山雌岳(11:45 着)12:15 発ー祐泉寺(12:57 着)13:00 発ー當麻寺(13:25 着)13:50 発ー中将堂 14:10(14:40 発)ー近鉄当麻寺駅(14:41 着)14:45 発ーJR 大阪駅(16:10 着)

### ◆奈良ハイク 二上山へ

安田

今回、私には久しぶりの奈良方面です。

早朝JR姫路駅6:38 発で出発。

集合は現地、二上山駅です。読むのはどうなのかな?と調べると、「にじょうさん」と読むそう。

でも以前は「ふたかみやま」と、読んでいたらしい。よくわかりませんが、今は「にじょうさん」らしい。山行に行くまではネットで調べて「ふたかみやま」だと信じていたので、それを、変更するのに何度も頭の中で反芻することになりました。

参加者全員、近鉄二上山駅に上手く合流できました。電車で降りてきた他の登山者にトイレ前で話かけられ、姫路方面から来たと言うと大変驚かされていました。そんな遠い所から来たのか?ということらしい。この方達は近郊の方々で、二上山はよく登っているらしい。その驚きは何なのかなと思いつつ駅前を出発。村中を通過し、登山口でストレッチを済まし出発しました。

登山道は道幅もあり、ゆったりとした登山道です。松の木の背が高い。落ち葉と松ぼっくりがある茶色の道をゆっくり登っていきます。情景が美しい。登山者が以外と多いのに驚きました。なかなか人気のあるルートなのだと思います。階段が多いので大変だったけれども、なかなかきれいに整備された登山道です。

展望のある所に出ると雪をかぶっているのであろう白い金剛山が見えます。やはり金剛山はこの辺りでは目立つ山ようです。



そして、まずは雄岳に到着。宮内庁管轄のお墓です。大津皇子の墓だそうで、やはり天皇家ゆかりのお墓です。そこから北へ少し行くと展望のある場所があり、大阪湾が見えます。明石大橋、淡路島、六甲山系、関空。今日は天気が良かったので綺麗に見えました。

そこから次の山、雌岳に向かいます。そこで昼食にな



りました。結構な登山客で賑わっていましたが、何とか場所を探し、チョット寒い中でお食事です。ここでは奈良方面の景色を眺めることができました。

下山道も緩やかな階段です。祐泉寺、傘堂、當麻寺と見学しながら降りていきます。當麻寺は大きなお寺でボタンが有名なお寺なそう。お参りをして近鉄当麻駅に向かいました。

お楽しみの御餅屋さんへ一目散！駅へ向かうまで、両側に建つ民家は大きな家が多くて珍しかったです。昔からのお寺関係の方々の家かな～？などと話ながら歩きました。

電車に乗って久しぶりの奈良はいいお天気でのんびり出来た一日でした。皆様、有難うございました。

## ■夕陽ヶ山・笠松西尾根

●日 程：1月19日(日)

●参加者：L藤本 SL島谷 天野 内海 尾内 兼澤 田中(重) 徳本 西川 西脇 春本 森下 矢根 山本(清)

●行動記録：古法華自然公園 9:10 発～夕陽ヶ山(9:55 着)10:00 発～峠(11:15 着)発～大柳ダム湖(11:20 着)11:25 発～東屋(11:45 着)12:15 発～笠松山(12:25 着)発～とんがり山出合(12:50 着)13:00 発～古法華自然公園(14:00 着)

### ◆「夕陽ヶ山・笠松山」山行に参加して

兼澤

近くに在りながらもこの地域の山に登ったのは土曜トレでの1～2回だろうか？このような趣のある山々が在ることを知らなかったことに恥入るばかりである。

そして、今回の山行が私の入峰の最後になるかも知れないことを思う時、感想文を寄稿することに意義深いものを感じている。

1月19日(日)は一年で一番寒い“大寒”の前日、しかも特別な絶景場所でもない「古法華自然公園キャンプ場」の駐車場(集合場所)はガラガラな状態だろうと思いついでいた。意に反して、キャンプ場は20張以上のテントが林立し、駐車場もいっぱいだった、なんと！！?? 集合時間の9時、参加希望者14人全員が元気に集まった。気温5℃、湿度60%、天気はピーカン(=快晴)、無風状態、凜としたすがすがしい空気の中、ストレッチをして、意気揚々とアプローチを開始した。



「夕陽ヶ山」登山口に取り付いた。いきなりの「急登」と「藪漕ぎ」で度肝を抜かれた。

～～リーダーから「コースの最後のところで“藪漕ぎ”が少しある、スパッツはいらないだろう」と説明があったのだが、リーダーの言われる「藪漕ぎ」と私の「藪漕ぎ」の認識が違っていただのかもしれない。そして、私流の「藪漕ぎ」は下山まで続いた。～～頂上まで半分くらい登った所で衣服調整の休憩があった。背景を見ると、山間(=やまあい)の静かな集落の佇まいと田園風景があった。遠くには小豆島・四国本島が認められた、ホッとした一刻(=ひととき)であった。

9時50分頃、「夕陽ヶ山」山頂に辿り着いた。三角点標石があった。三等三角点か？四等三

角点か？でワイワイ、ガヤガヤと談笑しつつ、身体の疲れを癒した。

その後の稜線歩きも登ったり下ったりの連続、加えて、シダ・イバラ・朽木・落ち葉・小かん木などで、歩きづらい。とても「稜線散歩」とはならなかった。

小ピークで、標高を確認する為、何人かの高度計を見比べたが、バラバラな数値だった。

高度計の精度が悪いのか？使い方がまずいのか？課題を発見した。

急な坂を慎重に下り、「峠」を越え、「大柳ダム湖」に着いた。「大柳ダム湖」は、姫路市を流れる「天川」の源だそうだ。「笠松山」登山口の手前に、広場があった。その広場の真ん中にポツンと一本、大きな桜の木があった。ツボミが目立つようになっていた。自然は春の準備を怠っていなかった。



【あれを見よ みやまの桜 咲きにけり 真心つくせ 人しらずとも】

この言葉で「人としての生き方」を教育してくれた恩人のことを思い出していた。

11時45分頃、「あづまや」に着いた。他にもたくさんの人が来ていた。昼食タイムとなった。おにぎりを頬張りながら、ふっと思った、“山は いいなあ～！自分にとって、山は力を、命を、よみがえさせてくれる場所のような気がするなあ～”。

12時25分頃、「笠松山」山頂に着いた。他のグループでいっぱいだった。少し通り過ぎたところで小休憩をとった。

「とんがり山」出会あたりからキャンプ場・駐車場が見え隠れし始めた。相変わらず、足場が悪い。急な下り坂を悪戦苦闘しながら歩を進めた。下山は予定より30分早かった。

参加者のみなさま、今日は、意義深い、思い出深い山行でしたね。蚊もいない、蛇も、蜂もいない、広葉樹は葉っぱを落として陽光の温もりと景色を与えてくれ、草木も休息している、正に、冬にしか行けないようなコースでしたね。企画していただいたリーダーに皆で感謝の心（＝まこと）を捧げたいと思います、「リーダー、ありがとうございました」。参加者のみなさま、おつかれさまでした。

## ■高御位山縦走

●日 程：1月26日(日)

●参加者：La 森本 SLa 須増 天野 木下 高島 土井 徳本 春本 松本 安田

Lb 上田 SLb 島谷 阿久津 生永 小田(敏) 乙坂 河合 黒本 佐野 田羅間 矢根

●行動記録：

(A班)JR 御着駅 8:50 発～御着登山口(9:30 着)～桶居山(10:30 着)10:40 発～桶居山分岐(11:50 着)12:05 発～高御位山(12:45 着)12:55 発～北山分岐(13:45 着)～辻登山口(14:20 着)14:25 発～JR 宝殿駅(14:55 着)

(B班)JR 御着駅 8:50 発～御着登山口(9:30 着)～桶居山(10:45 着)10:50 発～桶居山分岐(12:30 着)～高御位山(13:15 着)13:30 発～北山分岐(14:15 着)14:25 発～辻登山口(15:05 着)15:15 発～JR 宝殿駅(15:50 着)

## ◆ホームの高御位山縦走

高島

1月下旬というのに気温 15 度の温かい中での縦走となりました。お天気は雨の予報が前日には好転し、歩いていると日が差ししてきました。私個人的には4か月ぶりの山行で歩けるか心配しておりましたが、落ち葉を踏みしめ、岩肌を登りまた慎重に下り、里山からの景色を楽しみながら歩けることに幸せを感じました。



今回は21名の参加者で、快速組と普通組に分かれて歩きました。六甲全山縦走トレを兼ねて、という目的でもあり快速組は森本リーダーのペースで進みました。休憩時間はロスタイムと考え約3分、昼飯は15分もすれば皆さん腰を上げ出発します。このペースで10名中3名の方は少ししんどかったようですが、ペースが乱れることなくリーダーさんは歩きやすかったそうです。普通組の方々は休憩時間が5～10分取られていたようで、その差も含め到着時間が55分違ってきたのかと思います。

しかし、山歩きは早いのが良いのではなく、ゆっくり時間をかけて完歩を楽しむのもよし、制限時間内に歩くためにトレーニングするのもよし、目的にあわせた歩き方ができると嬉しいです。今回は快速組で歩いてみて、次回は普通組へとか、あるいはその逆で快速組で歩いてみよう、自分の体力を自分で知る目安も大切かなと思いました。

何回か歩いた登山道も、前回にはなかったロープに助けられ危険度が減少していることに感謝でした。そして、御着登山口から桶居山を越えた辺りまで赤いテープを見かけなかったのも、目印に所々赤いテープかリボンがあれば私は安心感が増します。

最後は王将でお疲れ様の一杯（三杯の人あり）で、二班が合流し無事の下山に乾杯でした。皆様ありがとうございました。

## ■扁妙の滝と笠形山

●日 程：2月4日(火)

●参加者：L 須増 SL 上田 天野 小田(敏) 笹木 春本 山本(正) 安田

●行動記録：グリーンエコー笠形(8:50着) 9:15発～扁妙の滝(10:00着) 10:10発～5合目(10:55着)～稜線出合(11:45着) 11:50発～笠形山山頂(12:05着・昼食) 12:40発～5合目(13:20着)～3合目(13:40着) 13:45発～グリーンエコー笠形(14:25着)

## ◆扁妙の滝と笠形山に参加して

春本

大寒から立春の当日まで暖冬で、前日夜わずかの氷点下の気象情報を凍った滝に期待をこめ、グリーンエコー笠形駐車場でメンバー7名と9時前に合流した。

天気も上々、服装も寒さ対策、足元も滑り止め(軽アイゼン)持参で、少し離れたトイレまでジョギング往復でウォームアップ、ストレッチで筋を伸ばしていざ出発。

入山届けのポストのあるキャンプ場をすぎ、滝までの登山道の途中「子育て観音」に立ち寄る。



真新しくきれいな造花に飾られた観音様が奉ってあった。

すぐ脇にオウネンの滝と典型的な大ききかたちの滝が、水量そこそこで観れました。

この滝は冷え込んでも凍ることは無いそうです。いよいよ次に扁妙の滝へと進みます。オウネンの滝から離れつつある谷筋を登っているはずなのに、ザーザー音が聞こえてくる。

目にした扁妙の滝は凍っていない普通の水量で迎えてくれた。まだまだ冷え込みがゆるいのか、だがそれはそれでけっこう観応えのある迫力。

60段ある、はしごととれる鉄の急階段を昇ったところの滝見台で衣服調整。

西に目をやると対面の山並みに、峰山高原や暁晴山が見えました。スキー場の雪は確認できず、白く見えるのはガードレールか。

次はハイキングコースで標高 939.4mの笠形山へ向かう。谷筋から中腹をゆく緩やかな登りで、落ち葉を踏みしめ時おり杉木立の木漏れ日の中を5合目6合目とたどる。7合目あたりで土の舗み感がふわふわしてくる、霜柱の跡だった、8合目からはバリバリと完全に凍っていて、「霜柱なんて久しぶり」と言うメンバーの声も。

やや急登の尾根を登りきって東屋のある山頂に到着、ちょうどお昼でした。ここまで登山口で記者風の一人と、手ぶらの地元の二人と個人ハイカー二人と会いました。

私は恵方まきを持参したので、シルバコンパスを西南西にセットし、その方向に七種槍や明神山を観ながらこそっとかぶりついていたらやはり話しかけられた。早く食べようとお茶で流し込んだのがこの後尿意をもよおすことになるとは。

頂上では風も無く陽気な日光をあびていたのもつかの間、下山し始めるとザワザワと風が出てきて日陰の道を足早になって、次の目標はトイレかと想うと話も無口になるほど。無事にキャンプ場まで着きほっとする。「響の湯」定休日の看板をみて、ストレッチした後、山のほうで「バーン」と猟銃のような音がしました。



今回の山行は、期待に添えない部分もありますが、得るものもあって楽しめたのではないのでしょうか。

追伸 2月6日はこの冬一の寒波で、滝も凍り雪も降って新聞に載ったら多くの人出が有ることでしょう。

### 【リーダーのコメント】

11日の神戸新聞朝刊で、笠形山の「扁妙の滝」の部分的な氷漠があったというニュースが掲載されていました。我々が行った後の7日～10日の冷え込みにより、8日から凍り始めたとのこと（そんな気はしましたが、そのようになったようです）。

「グリーンエコー笠形」の管理事務所の方の話によれば、氷点下5度ほどに下がる日が2～3日続くと滝が凍結するようである。また、今後の話として、同事務所 0790-32-1307 に電話をかければ、氷結状況を知らせて頂けるようである。